

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火1/火2/水1/水2	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	中国語 Chinese				
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等)	火1:La・b、火2:E6、水1:M11・12、水2:P18・19+F二	科目分類	外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 劉 愛莉 /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 火曜日、水曜日 12:00~13:00					
担当教員(オムニバス科目等)					
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 中国語の発音を身に付け、簡単な中国語会話ができるような基礎力を養う。 授業方法: 発音練習、本文、文法の説明。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。 授業到達目標: 中国語の正しい発音をしっかり習得し、漢字と単語を覚え、初歩的な中国語文法を習得する。					
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 内容:最初の5回の授業で中国語の発音(母音、子音、声調、音節)を習得し、第6回目から単語、文法、説明文、会話文(自己紹介の仕方、家族の紹介、年齢の言い方)などを勉強し、練習問題にも取り組む。テキストの内容に即して中国文化にも触れる。 第1回 中国語について 単母音と声調 第2回 母音(二重母音、三重母音) 第3回 子音 第4回 n ngをもつ母音 音節とその読み方 第5回 発音のまとめと辞書の使い方 簡単な挨拶 第6回 第1課「自己紹介」 第7回 人称代詞、名前の尋ね方、答え方 “是”構文 第8回 第2課「私は大学生です」 第9回 疑問詞を使った疑問文 副詞“也”“都” 助詞“的”の用法 第10回 第3課「私たちの学校」 第11回 指示代詞 存在を表す動詞“有”“在” 方位詞 第12回 第4課「私の家族」 第13回 所有を表す動詞“有”、家族や年齢の尋ねかた “量詞” 第14回 総合復習 第15回 定期試験					
キーワード	発音 会話 文法 練習問題				
教科書・教材・参考書	テキスト:『実用中国語10課』 (白帝社) 中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)				
成績評価の方法・基準等	授業への参加・態度20% 宿題、個人発表など20% 定期口頭・筆記試験60%。				
受講要件(履修条件)	出席重視し且つ積極的に授業に参加すること。				
本科目の位置づけ/学習・教育目標					
備考(準備学習等)	予習、復習が必要。習った単語を覚え、宿題を完成すること。 教科書、筆記用具、辞書必携。				